

2023/9/10(日)

時間 14:00~16:00

開場 13:30

会場 塩尻市市民交流センター
(えんぱーく)
3階 多目的ホール

定員 130人 (先着順)

参加費 無料

申込開始 8/6(日)

申し込み方法

本館総合カウンター、メール、
電話 (0263-53-3365) のいずれか。
メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「9/10 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名 (フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ
(広報、チラシなど)



≪講師≫
高橋 敏夫
(たかはし としお)

文芸評論家・早稲田大学名誉教授。

1952年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。同大学大学院博士課程単位取得退学。専門は日本近現代文学研究、文学・文化理論研究。『理由なき殺人の物語—「大菩薩峠」をめぐる』、『藤沢周平 負を生きる物語』ではじめた時代小説評論は、『抗う 時代小説と今ここにある「戦争」』までつづき、佐高信との対談『藤沢周平と山本周五郎』もある。他に『井上ひさし 希望としての笑い』、『松本清張「隠蔽と暴露」の作家』などがあり、コレクション「戦争と文学」編集委員、「文豪の家」シリーズの監修者もつとめた。

派手な英雄豪傑譚から離れ、人々の日々の喜怒哀楽を丹念にえがいてきた歴史時代小説に新世代作家たちの活躍が目立つ。30年近くつづく希有なブームの意義を確かめつつ、今村翔吾、澤田瞳子、川越宗一、武内涼ら新鋭のえがく、平和と共生をめざす素敵な「なかま」たちの物語をたどる。

歴史時代小説ブームの現在

—新世代作家たちの冒険—